

やる気応援事業特集号

自治宝くじコミュニティ助成事業

～コミュニティの健全な発展が図られています～

財団法人自治総合センターによる、宝くじの受託事業収入を財源とした「平成20年度自治宝くじコミュニティ助成事業」に市内の6団体が採択され、地域づくりのためにさまざまな整備を行いました。今月号では、そのうちの4団体をご紹介します。

生涯学習課 ☎22-1327

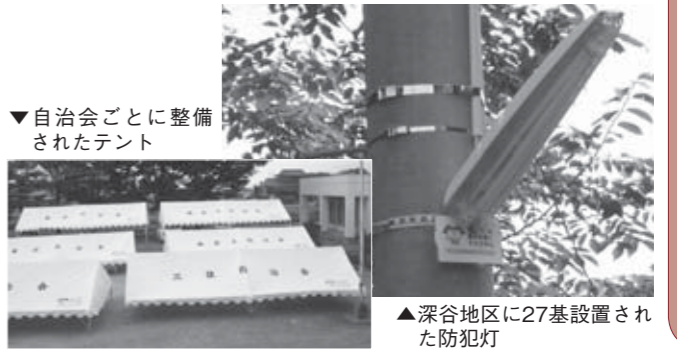
白石市深谷公民館運営委員会

白石市深谷公民館運営委員会では、深谷公民館を地区活動の拠点として、コミュニティの推進に取り組んでいます。今回の宝くじ助成事業で、防犯灯の設置と自治会ごとのテント整備を行いました。

深谷地区には外灯のない暗い道が多く、通学する子どもたちの安全を確保するため、自治会ごとに防犯パトロールを行うなどの対策を実施してきました。地区の皆さんにとって、暗い道の解消が大きな課題となっていました。宝くじ助成事業を活用して27基の防犯灯を設置できたことで、安全・安心の確保に向けて大きく前進しました。

また、テントは深谷公民館に一張りしかなく、晴天時のイベントでは「高齢者や子どもたちが熱射病になるのではないかと心配する声も出ていました。今回の助成で自治会ごとにテントを整備でき、安心してイベントを開催する環境が整えられました。同委員会では今後、これらの備品をコミュニティ活動の大切な備品として活用していくことにしています。

- 助成額 250万円
- 助成内容 防犯灯27基、テント6張り



自治会ごとに整備されたテント

深谷地区に27基設置された防犯灯



おおつき 大槻 孝会長

深谷地区内の自治会と何度も話し合った結果、名実共に住み良く、明るい深谷地区を実現する上で緊急課題であった防犯灯の設置と、地域行事に欠かせないテントの購入を決めました。今回購入したこれらの設備を最大限に活用し、地域の活性化に役立てていきます。

大網自治会

大網自治会では、盆踊り大会で長年使用してきた太鼓を修繕したほか、新たにもう1台太鼓を購入しました。太鼓を2台同時に演奏することで、後継者の育成につながるものと期待されています。盆踊り大会は大網自治会の長年の伝統行事で、地区住民と帰郷してきた方との貴重な交流の場として、地域コミュニティを醸成する大切な行事になっていました。

今年、新しく整備した太鼓で青年部の若者が力の込められた演奏を披露し、いつも増してにぎやかな大会となりました。

また、大網地区担い手センターでは、地区民を対象とした料理教室などを行ってきました。液晶テレビやDVDプレーヤーを整備したことで、より幅広い講習会を開催できるようになりました。このほかにも、センターの清掃に欠かせない掃除機を助成事業で購入。大網自治会では、これらの備品をコミュニティ活動の充実のために役立てていくことにしています。

- 助成額 150万円
- 助成内容 太鼓1台（太鼓台付き）、太鼓の修繕1台、法被30着、液晶テレビ1台、DVDプレーヤー1台、掃除機1台



地区の盆踊り大会で大活躍だった法被や太鼓などの備品



し か ま せいいち 四釜 清一 会長

地区青年部を中心に、地区民の夏祭りとして盆踊り大会を毎年実施しています。今年の盆踊り大会は、早速整備した太鼓や法被を活用して、楽しく盛大に開催することができました。また、大網地区担い手センターの備品も整備することができ、心から感謝しています。

上郡山第二自治会

上郡山第二自治会では、助成事業で新調したおそろいの法被を着用し、8月11日の白石夏まつりパレードに地区の子どもたちと共に参加し、「地球を大切に」「ポイ捨てをやめて、まちをきれいに」の横断幕を掲げて大声で連呼。沿道の市民から大きな励ましの拍手を受けたことで、「地区の活性化を目指して頑張ろう！」と、団結意識がより一層高まりました。

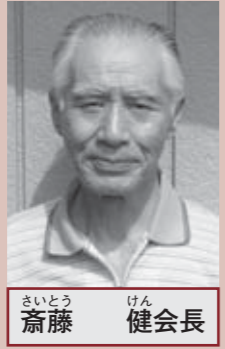
また、8月24日には地区の夏祭りを開催。参加者全員が今回整備した法被を着用し、助成事業で購入した煮炊きセットでおにぎりを作り、備品のお披露目を行いました。

この日は、特製の昔懐かしい「手作り氷水」を振る舞ったり、カラオケや隠し芸などを次々披露したりするなどして、大人から子どもまで楽しい一日を過ごしていました。

- 助成額 120万円
- 助成内容 法被100着、移動式煮炊きセット2セット



8月11日の白石夏まつりで、新しいおそろいの法被を着て白石音頭パレードに参加する子どもたち



きくuchi 健 会長

上郡山第二自治会は、創立8年目の新しい自治会です。当自治会のシンボルマーク入りの法被と煮炊きセットを整備しました。これらを夏の地区イベントに活用し、地区民のきずなを深めることができました。まさに「宝くじは豊かさ築く力持ち」です。ありがとうございました。

本郷第一自治会

本郷第一自治会ではコミュニティ行事として、白石市民春まつりや市民体育大会に参加したり、地区の盆踊り大会などを開催したりしています。春まつりでは何度も子どもみこしの部で優勝したほか、市民体育大会では応援にも力を入れています。

しかし、行事を盛り上げるための太鼓は老朽化が激しく、修理ができない状態でした。また、法被は大人用がなく、ほかの団体から借用していたため、統一感が欠けていました。

今回、同自治会では地区住民からの強い要望を受け、助成事業を活用して和太鼓や縮太鼓、法被30着、収納庫を整備。今回の整備で、地区コミュニティ行事を大いに盛り上げることができるようになったほか、新たに収納庫を整備したことで、自治会活動の備品を効率的に収納できるようになりました。

- 助成額 250万円
- 助成内容 和太鼓1台（折りたたみ台付き）、縮太鼓5台、法被30着、収納庫1棟



購入した法被や太鼓は、地域のために大切に使っていきます！



よしの せいしろう 吉野征四郎 会長

長年、地区民からの要望が強かった太鼓の新調とおそろいの法被の整備を実現でき、大変うれしく思います。今年の盆踊り大会は雨のため中止でしたが、盆踊り大会準備委員会の反省会にお披露目することができました。今後も大切に使用して、地域の活性化に努めていきます。

平成20年度採択された事業助成団体ごとの内訳

団体名	助成額
白石市深谷公民館運営委員会	250万円
本郷第一自治会	250万円
大網自治会	150万円
上郡山第二自治会	120万円
下原自治会	110万円
大平第7区自治会(集会所建設)	820万円



宝くじは豊かさ築くチカラ持ち。

宝くじは、広く社会に役立てられています。

整備した備品には、すべて同じマークが表示されています